

研究課題(テーマ)	英語実力試験結果の横断的 および縦断的な調査により 学生の「英語力」を把握する		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	英語教育改革推進チーム 教養教育センター	英語教育改革ディレクター 准教授	山崎 大介
研究結果の概要			
<p>本学では、2015年度より、工学部の1年次生などを主な対象として、4月と12月に時期を固定して英語実力試験を行うことにより、部分的にはあるが、学生の「英語力」について調査している。2019年度からは、新設された看護学部の1年次生も対象としている。</p> <p>これにより、学生の試験得点に関する変化や学科間の違いなど、さまざまな観点で学生の「英語力」というものを捉えることができるようになった。</p> <p>本調査では、TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests を採用している。 なお、試験実施の概要については、以下に示す。</p> <p>【概要】 いずれの試験も富山県立大学 射水キャンパスの各教室にて実施</p> <p><工学部1年次生></p> <p>第1回目： 2022年4月5日(火曜日) 午前8時30分~10時30分</p> <p>第2回目： 2022年12月9日(金曜日) 16時30分~18時00分</p> <p><看護学部1年次生></p> <p>第1回目： 2022年4月8日(金曜日) 14時50分~16時20分 もしくは16時30分~18時00分</p> <p>第2回目： 2022年12月9日(金曜日) 14時50分~16時20分 もしくは16時30分~18時00分</p> <p>この調査における分析結果などの詳細については、以下の論文にまとめている。</p> <p>山崎大介 (2023). 「大学1年次生の英語実力試験結果に関する縦断的・横断的分析」『富山県立大学紀要』第33巻, 48-56.</p>			
今後の展開			
今後は、今回の分析結果を「教材」や「プログラム」などの開発、及びクラス編成などにも役立てることができれば良いと考える。さらに英語教育改革を推し進めることが大いに期待される。			